

東芝テックOB会だより

第23号 2012年1月31日

第17回東芝テックOB会総会開催！



去る11月4日（金）、第17回東芝テックOB会総会は、雲一つない秋晴れの中、静岡事業所伊豆体育館で開催されました。

総会は、寺尾幹事の司会で始まり、杉之内会長の開催挨拶、会社側より川口常務のご祝詞の後、議事として会計監査報告及び3 / 11に発生した東日本大震災により自宅を流された会員に対する災害見舞金の取扱いと役員改選が提案され、原案通り承認されました。

引続き米寿、喜寿を迎えられた51名の方に記念品贈呈が行われました。

懇親会は久保元社長のご挨拶と乾杯の音頭で始まり、久し振りの再会に和やかな交流の輪が広がりました。

又、恒例になりましたOB会員による農産物の特売も実施されました。

最後に副会長による中締めと来年東京での再会を約束して無事終了しました。



会長挨拶 要旨

会長 杉之内 義正



皆様、ご無沙汰しております。今日は秋晴れの中、第17回総会に多数ご出席を賜り厚くお礼申し上げます。特に千葉・埼玉・東京・神奈川等に在住のOB会員については遠方からご参加賜り感謝申し上げます次第です。

又、総会には社長からご祝詞をいただくのが恒例ですが、今日は総務担当の川口常務からいただくことになり、後程、今年の業績や会社の動向等ご説明があると存じますが、昨今の円高を含め、厳しい経営環境の中で会社を預かる現役の皆様にはご苦勞も多いことと推測いたします。ここは何か頑張ってお下さる事を期待しています。

余談ですが、今日の会場である三島工場は来年12月で開設50周年を迎えることとなります。OBとしては現状を見ると、時代の流れとは云え、活気がないのがいささか寂しい限りです。

さて、皆様もすでにご承知の通り、去る3/11に発生した東日本大震災により被害を受けられたOB会員の皆様にあらためて心よりお見舞い申し上げます。調査によりますと被害を受けられた会員の中で津波により自宅が流され、現在避難生活を余儀なくされている方が居るとの事です。私共幹事会と致しましては会則にはありませんが、厳しい生活を余儀なくされている会員に対して、会員各位のご了解が得られるなら会費の中から会員相互の絆として災害見舞金を差上げたいと考え、本日の総会に提案する次第です。どうぞご承認賜りますようお願いいたします。

次に、今年は役員改選期に当たりますが、私としては現幹事各位と協力して、引き続きOB会の

運営をお預かりさせていただきたいと思っております。是非、ご賛同賜りますようお願いいたします。

申し遅れましたが、今年は残念ながら25名の会員が亡くなりました。誠に寂しい限りです。あらためて皆様と共に慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

次にお祝いの件ですが、今年は51名の方が米寿・喜寿を迎えられました。本当におめでとうございます。後程、お祝いを差上げたいと存じますが、今後とも益々ご健康に留意され、毎年の総会には是非ご出席賜りますよう心から願っています。

さて、本日は久しぶりの再会です。時間の許す限りご歓談賜りますようお願いすると共に創作展は応募作品が少ないためやむを得ず中止致しましたが、OB手作りの農産物を特別価格で販売しますのでよろしくお願い致します。

最後になりますが、会員各位のますますのご健勝と会社の繁栄を祈念すると共に本日の会場準備にご支援いただきました関係者の皆様に感謝を申し上げます。簡単ですが総会開催の挨拶と致します。有難うございました。

来賓祝詞 要旨

取締役常務 川口 潮



川口でございます。

本日は、「第17回OB会総会」にお招きいただきまして誠にありがとうございます。皆さんの元気なお姿に接することができ、大変嬉しく思う次第です。めでたく米寿、喜寿を迎えられました先輩の方々に対しましては、心からお祝いを申し上げます。今後とも一層健康に留意され、お元気で御過ごしになれますようご祈念申し上げます。

【業績関係】

さて、一昨日、第2四半期の決算内容を外部へ公表しておりますが、その前期の当社状況について、簡単にご説明させていただきます。

3月11日に発生しました東北地方を中心に大変な被害をもたらした東日本大震災からほぼ半年が経過しました。経済活動は徐々に復旧し、世の中もかなり落ち着いて来ましたが、完全復興までには、まだ長い道のりが予想されます。特に、最近の急激な円高や米国の景気後退、加えて欧州のソブリン・リスクに端を発した世界金融不況再来の懸念など、先行きが非常に不透明な中で事業運営を行っていかねばならない状況下において

◆連結の売上高は1,756億円

◆営業利益は51億円

◆経常利益で29億円

と、インクジェットヘッド推進部を除くシステムソリューション事業本部とグローバルソリューション事業本部の両事業部門とも対前年減収減益となり、予算についても未達という結果となりました。

一方で、国内のPOS台数シェアの9年連続1位、中国のMFP台数シェア11年連続No. 1、また、多くの新製品の投入、大口受注や新規商品の受注、シナジー販売の増加など、将来に向けての明るい話題があったことも確かです。

【今期を迎えて】

既に下期がスタートし、1ヶ月が経過しましたが、各部門全力をあげて目標達成のための施策や計画に取り組んでいるところでございます。勝手なお願いではありますが、どうぞ当社製品のご愛顧、またはお知り合いへのご紹介などを通じて、私どもへのお力添えをいただければと思う次第でございませう。

【終わりに】

以上でございませうが、本日は多数の皆様にご来場いただきありがとうございますので、時間の許す限りご歓談させていただき、年に1回のOB会総会を有意義に、また楽しく過ごさせていただきたいと思ひます。本会の発展と皆様方の益々のご健勝を祈念いたしまして、簡単ではございませうが、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

【災害見舞金を受けとった方からのお礼状】

拝啓 盛夏の候、皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。
早速では有りますが三月十一日の東日本大震災に際し、皆様方の心温まるお見舞いを東芝テックOB会事務局から去る七月二十四日に頂戴致しました。
国からの生活支援金が未だ届かぬ段階で、本当に貴重なお見舞金となりました。心より厚く感謝申し上げます。
我が家は、津波と地震のダブルパンチに遭い全壊となり、多賀城市に解体をお願いしている処ですが、市全体の依頼戸数が八百戸も有り何時頃になるか全く予定が付かない長期戦の様相です。避難者数もまだ二百数名の多くを数え小生も娘のアルバイトで避難生活を送っている状況です。
まだまだ前途多難では有りますが、皆様の励ましの言葉を糧に、一步一步前進して参る所存です。今後共、ご支援ご鞭撻を賜ります様宜しくお願ひ申し上げます。甚だ簡単では御座いますがお礼の挨拶とさせていただきます。
敬具

第8期活動報告（要約）

（H21/11～H23/10）

東芝テックOB会
第8期常任幹事会

私達第8期常任幹事会は平成23年10月開催の『第17回総会』をもって、2年間の任期を終了いたします。この間、OB会員並びに会社の暖かなご支援を賜り、厚くお礼申し上げますと共に、去る3月11日に発生した東北地方を中心とした震災によって、甚大な被害を受けられましたOB会員の皆様には心より深くお見舞い申し上げます。

さて、私達はスタートに当たり、前期即ち第7期（H19/1～H21/10）で取組むべき課題として6項目を提示しましたが、その内【OBライフ支援プログラムの推進】及び【OB会記念資料館設立】については、当面継続課題として、次の各項目につき、引続き取組むことといたしました。

1. 新会員の獲得対策の推進

1) 退職時の取扱いの徹底

過去の反省を踏まえて、会社の積極的な協力をいただき、定年及び定年扱いの方に対し、退職手続きの際、OB会加入の手続きを徹底的に実施することを依頼。また、関連会社へ出向・転籍した方に対しても各会社の担当窓口にはOB会加入について説明するように徹底を図ると共に継続して努力するよう依頼した。

2) OB会員入会有資格者対策

既に退職したOB会入会有資格者に対してはOB会入会案内状等を郵送し、加入促進を図り、それなりの効果がありましたが、第二次実施については費用効果面を勘案し、当面は活動を中止し現会員を通じ、入会の促進を図る方向にしていきたいと考えます。

3) 会則第3条（会員）の改正による会員の拡大

会員の加入条件を改正し、新たな会員の獲得を図るべく検討を続けてきましたが、規則改正による効果を予測することは困難であり、当面、検討作業は中止しました。

2. 支部制導入によるOB活動の活性化

支部制の導入は地域会員相互の積極的な交流活動を通じ、OB会活動全体の活性化を図ることが最終の目的です。

設立に当たっては、各地区の常任幹事が中心になり、支部設立世話人会の開催、未加入者の調査・入会案内状の送付・設立総会の準備等々多大なご負担とご苦勞をお掛けいたしました。

結果として、三島・函南支部、駿東支部に続き、

H22-10 沼津支部

H22-12 伊豆支部

H23-03 伊豆の国支部

が設立され、静岡地区における支部体制は一応整いました。しかし、今後、全国各地に分散している会員を対象にどのような方法で体制作りを進めるのか大きな課題が残っています。

3. HPの改善

今年度は平成15年に立ち上げたHPを2回目の改訂を行いました。「さらに親しみやすく、参加しやすく」をモットーに、また「コスト削減」を行い内容の充実を図りました。閲覧数も3万回に近づきつつあります。これからも皆様の要望を聞きながら改善を進めて参ります。

4. OB会主催の工場見学会

5. その他の報告

1) 広報誌（OB会だより）の発行

前期（第7期）に引続き、会員相互の絆を結ぶ重要な手段であるとの認識で会員各位の寄稿をいただき、年3回の発行を実施した。

平成22年度	17号	H21-12-15発行
	18号	H22-03-31発行
	19号	H22-07-15発行
平成23年度	20号	H22-12-20発行
	21号	H23-04-30発行
	22号	H23-08-31発行

2) 各支部活動

【三島・函南支部】

H22-2：初午・地口行灯鑑賞ツアー実施

H22-5：支部総会開催

H22-7：函南文化財巡りと温泉ウォーキング

H22-8：グラウンドゴルフ&納涼祭

H22-10：長泉発見ウォーキング

H23-4：グラウンドゴルフ&お花見

H23-5：支部総会開催

健康管理講演会「ストレッチ&転倒防止のための体力向上」

H23-6：ふじの国ご当地グルメまつり in 三島ウォーク

【駿東支部】

H22-5：支部総会開催

H22-10：湧水・せせらぎウォーキング

H23-5：支部総会開催

【沼津支部】

H22-9：支部設立総会開催

【伊豆支部】

H22-12：支部設立

【伊豆の国支部】

H22-6：支部総会開催

3) 各種イベント

【ゴルフ】

- 第6回親善オープンゴルフ大会
H22-5: 於) 足柄森林カントリー倶楽部 参加者34名
- 第99回黒崎杯
H22-5: 於) 小田急藤沢ゴルフクラブ 参加者24名
- 第16回MOB会
H22-10: 於) 天城日活ゴルフ倶楽部 参加者9名
- 第8回ウイナーズゴルフトーナメント
H22-11: 於) 富士エースゴルフ倶楽部 参加者27名
- 第100回黒崎杯
H22-12: 於) ゴールド川奈 参加者30名
- 第101回黒崎杯
H23-5: 於) 小田急藤沢ゴルフクラブ 参加者7名
- 第7回親善オープンゴルフ大会
H23-5: 於) 足柄森林カントリー倶楽部 参加者28名

【囲碁】

- 第8回東芝テックOB会囲碁大会
H22-10: 於) 日本棋院八重洲囲碁センター 参加者14名

【ウォーキング】

- 第14回首都圏ファミリーウォーキング
H22-4: 桜の浅草寺・向島・隅田川リバーサイドウォーキング 参加者32名
- 第15回首都圏ファミリーウォーキング
H22-10: 旧江戸東京散歩・第三弾上野寛永時・歴史ウォーキング 参加者18名



～OB会事務局より～

- OB会にホームページがあるのをご存知ですか？ 各種イベントのご報告や会員の皆様の動向をお知らせしています。ご自宅のパソコンがネットにつながっているという方は一度遊びに行ってみてください。そして、いろいろご意見をお聞かせください。

ホームページアドレス：<http://www.toshibatec-ob.jp/>

- 2012年1月よりOB会事務局の担当が林真理子から亀石晋平に変更となりました。微力ながら、OB会活動のサポートに誠心誠意努力する所存でございますのでご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

《 総 会 資 料 》

平成23年10月31日現在の東芝テックOB会会員数は次のとおりです。

会員の状況

新会員 28名
 ご逝去者及び退会者 51名（逝去者25名、退会者26名）
 総会員数 1,115名（内 終身会員数43名）

お祝い 平成23年度米寿、喜寿をお迎えになられた方々は下記のとおりです。
 まますご健勝でありますようお願い申し上げます。

☆米寿のお祝い（11名）大正13年生

野村 英介 様 堀田 正視 様 丸川 正雄 様 宮内 進 様 三輪 健介 様 海老塚 勉 様
 小林 蔚 様 杉田 文男 様 杉村 正夫 様 鈴木角之進 様 鈴木 久 様

☆喜寿のお祝い（40名）昭和10年生

青山 正信 様 足立 嘉弘 様 阿部 金一 様 有村 重剛 様 岩根 英行 様 伊藤 栄康 様 碓井 和美 様
 内田 海司 様 小駒 正晴 様 大川 研造 様 川村 久夫 様 数野 将憲 様 木津侑一郎 様 上月 景道 様
 佐藤きくゑ 様 坂神 常雄 様 寿乃田正一 様 田内規久郎 様 田中 弘 様 中川 邦夫 様 西島 義雄 様
 野田 泉 様 橋本 徹 様 畠 豪 様 馬場 英輔 様 藤田 亀義 様 藤村 圭介 様 真島 良雄 様
 三上 幸男 様 水口 勇夫 様 三田 知市 様 宮嶋 芳郎 様 宮澤 慶治 様 室住 正夫 様 望月 武夫 様
 山田 三男 様 山本 敦 様 山口 正 様 芳野 達男 様 渡辺 利伊 様

■訃報 心からご冥福をお祈り申し上げます（25名）

池谷 信夫 様 (H21.11) 金成 久寿 様 (H22. 1) 永田 善一 様 (H22. 5) 鳥沢 正次 様 (H22.10) 戸栗 大文 様 (H22.10)
 鈴木 陸二 様 (H22.11) 杉村 正夫 様 (H22.11) 増田 仁 様 (H22.11) 木下 義則 様 (H22.11) 藤 英夫 様 (H22.11)
 浅田 美男 様 (H22.12) 栗本 行智 様 (H22.12) 上田 一岳 様 (H23. 2) 高木 貢 様 (H23. 2) 篠塚 邦吉 様 (H23. 4)
 関野 金二 様 (H23. 5) 山下 和弘 様 (H23. 6) 深瀬 晋 様 (H23. 8) 西島 衛 様 (H23. 9) 久保 元吉 様 (H23. 2)
 杉田 留一 様 (H23. 2) 富田 育男 様 (H23. 4) 菊地 良雄 様 (H23. 4) 吉瀬 晨一 様 (H23. 9) 鈴木 浩 様 (H23.10)

《役員改選について》

会 長 杉之内義正
 副 会 長 鈴木成二
 幹 事 岩崎正宏、植木功夫、
 菊池重生、菊池好子、
 島崎準一郎、塚原 仁、
 寺尾 潔、友久保義昭、
 東 高司、藤田亀義、
 藤田秀明、松永秀隆、
 室伏好子、吉田昭太郎、
 会計監事 大嶋盛次、飛田 捷
 (五十音順)

《平成22年度会計報告》

収 入 の 部		支 出 の 部	
前期繰越金	3,467,541		
会費（年会費）	1,778,000	幹事会運営費	201,395
雑収入（預金利息、 支部活動費戻入）	409	総会	84,800
		OB会だより	797,504
		お祝い金	410,000
		香典及び生花代(25人)	304,500
		支部運営費	364,936
		行事活動補助	6,000
		HP運営費	105,000
		見舞金	110,000
		雑費（振込手数料等）	106,970
収入計	1,778,409	支出計	2,491,105
		次期繰越金	2,754,845



会員の広場

新しい仲間達とのふれあいの日々 ～岡井 伸毅さん～

2012年の新年を迎えました。

昨年は3.11の未曾有の大震災、それによる原発事故、9月の風水害と言った大変な年でした。被害にあわれた地域の皆様には、心からお見舞い申し上げます。又、国内のみならず地球上の各地で異状事態が発生し、いまだに皆さんが苦しんでいます。このような事態を、我々はどのように捉えなければいけないかと考えさせられた一年だったと思います。

仕事から開放され毎日がフリーの身になって早や11年になりました。

昨秋、近況報告をするようにとの連絡があり、どうしようかなと迷っていました。その様な心境の中で、会社生活をどのように過ごして来たのかなと振り返った時、若かりし頃の楽しかったこと、苦しかったこと、あァこう言うことがあったなァと言ったことがいっぱい頭に浮かび、懐かしい気持ちでペンをとりました。

思えば、営業担当として東芝事務機、大阪営業所に入り、初々しい気持ちで張り切っていたのもつかの間、一年半後に東京電気に吸収合併され、複雑な気持ちで頑張ったこと。それがテック電子に、最終はテック商事(テックアップライアンス)にと四つの会社を経験しました。

その間、多くの良き先輩、励まし合った同僚、又、優秀な後輩の皆さんに恵まれ無事サラリーマン生活を卒業することができました。皆様に御礼申し上げます。

現在、我が家は、娘、息子達は独立し孫4人(小5、3、2、幼)に恵まれ、家内と二人生活の毎日です。

会社時代から趣味として続けているゴルフ、そしてボケ防止のため始めた囲碁、それから現役時代より親交のあった横浜市議員より、地域のた

めに何か役に立つ活動をしてはと勧められて始めたボランティア活動の一部を報告します。

【ボランティア活動】

○退職して4年(2005年)経った頃、市議(当時35才)から、我々のこの青葉区には、多くの愛犬家が住んでいる。そのため公園等でのトラブルの苦情が多いとのことでした。そこで、横浜市は遊休地(1200坪)を利用してドッグラン(リードを外し犬を自由に遊ばす施設)を作る計画です。市としては予算の関係上、施設の設置工事まではする。しかし、利用料は無料とし、その代わり運営は利用者が行うと言う内容で開設したい。その様な仕組みで運営するドッグランを立ち上げるのに協力してほしいと相談があり引き受けました。そのためにNPO法人を立ち上げ、その一員として、ドッグランの規約作りや行政との交渉、PCでの会員管理等に参画してスタートしました。問題はドッグランを利用したいが運営には関わりたくないと言った考えの愛犬家が多く、この仕組みを理解して積極的に協力してくれるまでに、まる一年かかりました。このような「官」と「民」が共同で運営するドッグランは全国で初めてで、メディア等の取材が多く、NHKの「おはよう日本」でも取り上げられ全国放映されました。その他、行政



模範の愛犬家達と

の方達の視察も多く、神奈川県から、同じシステムのドッグランを作りたいとの要望で応援依頼があり、県立相模原公園内に1000坪を用意して、2006年にオープンしました。NPOでは、犬のしつけやマナー、また犬の適正飼養の啓発活動等を通して、地域社会に貢献できる模範の愛犬家の集団作りを目指して活動しています。(私は犬が好きですが飼っていません)現在は、両ドッグランとも会員が積極的に協力し合い順調に運営しています。



ドッグラン場

○もう一つは、現役時代から関わっていた、横浜市立小学校（青葉区内30校）を対象に、その子供達が夏休みに描いた絵画を集めて年に一回の展示会を実施しています。横浜市（市長賞）、市教育委員会（教育長賞）、青葉区（区長賞）等の後援をもらい、昨年で16回になりました。子供達が、芸術や美に触れることにより創造性ゆたかな児童に育ててもらいたいとの願いで、毎年6月頃から学校に案内をして実施しています。昨年は302点の応募があり、平成23年10月29日（土）～30日（日）開催し、23名の作品が賞に選ばれ表彰されました。これらの受賞作品は神奈川県展（県知事賞他）への代表作品として出展され、その又優秀作品は全国展（文部科学大臣賞他）へとつながっていきます。この絵画展に、年々小学校が積極的に参加（昨年23校）するようになり今後益々楽しみです。

【趣味としては】

○現役時代から続けているゴルフを月に2～3回楽しんでいます。ゴルフクラブで知り合ったシニア仲間三人と月例競技に毎月参加しています。知り合った時はお互いが、HCP20前後でしたが、今は、小生は13ですが、一人はシングル(8)、もう一人は10と離されています。その他、会社の先輩や同僚からもお誘いをいただき、年に5～6回プレーをして友好を深めています。



昨秋にプレーした会社の先輩と同僚

○ボケ防止にと習い始めた囲碁も楽しい趣味の一つになりました。囲碁クラブのメンバーは、色々な方面で活躍された60歳以上の紳士が多く大変勉強になっています。

4年前に大変なことがありました。元東大病院の内科部長をされていたご老人(足が不自由)と対局していた時、隣の席の方が、ドタンと音がして倒れました。私は一瞬、脳梗塞だと思い即、床に寝かせてあげなければと横にしたところ、見る見るうちにその人の顔が土色になりました。“先生、心臓が止まった”と伝えると、“岡井君、心臓マッサージをしろ”との指示でした。マッサージの経験がなかったが、たまたま、その2～3日前にTVで心臓マッサージの講習シーンを見ていましたので無我夢中でその通りやりました。何分ぐらいの間マッサージをやり続けたか分かりませんが、その内、手のひらに何か心臓の動きを感じました。すると見る見るうちに顔がピンク色に戻ってきました。そうして倒れてから15分後位経った頃に救急車が来て病院に運ばれていきました。あとで知りましたが心筋梗塞だったとのことでした。この病気は心臓が停止して5分前後が生死の分かれ目だそうです。TVを見ていなければその方はどうなっていたか。人生とは分からないものだと思います。助かってよかったです。その方は今、元気になって碁を楽しんでいます。この囲碁クラブには、紳士の他に子供やご婦人も多く、これまでにプロ棋士を二名輩出しています。三年前にプロになった白石勇一棋士(26才)は、一昨年、新人王を獲得し脚光を浴び頑張っています。その彼は月に一度、指導に来てくれていてメンバーの皆さんは喜んでます。以上のように、会社時代の多くの先輩や同僚の

皆さんはじめ、新しく地域で知り合った、多くの仲間達と接し楽しく充実した毎日を送っています。これからも元気でいる限りこのボランティア活動と趣味を続けていきたいと思っています。

今年は世界の大国と言われる国や近隣諸国のリ

ーダーが変わろうとしています。その様な中で、日本もより良い方向に進み安定した住みよい世になりますようにと願っています。

皆様のご健康をお祈り申し上げます。

私の好きな尺八とウクレレについて ~岩根 英行さん~

退職後はボランティア活動、レコードコンサートを自治会館で地域の方と色々なレコード、CD盤を持ち寄り静かに聞き入り、お楽しみ後はお茶菓子会で次回の予定を立てます。映画の観賞会は店でレンタルして泣ける感動的なものや笑いものを実施していました。

ボランティアの縁で『ひかりの園』へ就職し身障者の受付業務をしていましたが、身障者のお子様と楽しく時間を過ごしたく思い仕事の合間に尺八とウクレレの教習所へ約一年間通いその成果をお子様と一緒に歌い楽しい日々でした。

同じ施設内の『緑園地域交流センター』へ転勤となり大勢の方達との交流と地域の老人ホームや各町内の行事に尺八とウクレレの演奏依頼があり、ご期待に添うように毎日3時間の猛練習で大きな楽しいプレッシャーと、うれしい疲れが気になる年頃になってきました。

合気道の練習にドイツやアメリカの方が来られました。日本人以上に礼儀正しい行動には見習う事がありました。合気道に対する尺八演奏は剣士に合わせて剣を振りかざす瞬時にその型に合った尺八音色をシュルルと吹き剣士の前進、後進には足の運びに合わせてビョピョと吹き、まさに剣士と私が一体とならないと危険を伴います。休憩どきに私の尺八を見てバンブーフルートと言い興味



深く見てお喜び下さいました。

演奏曲目はハワイアンからポップス、童謡、演歌とどんなジャンルにも下手ですが対応できます。半歩でも一歩でも先を見据えて演奏技術を磨き楽しみたいです。

最近では百歳を目標に健康管理を意識してボランティア関係をやめ、家内を相手に毎日軽く練習していますと今日はきれいな音ですねと言ってくれます。お昼から横浜近辺を散策して街角のLIVEや展示会をのんびりと楽しんでいます。

今日起こった変化はなんだろう？時々 TECのライトバンを見かけますと思わず*ガンバッテ*と心の中で叫んでお見送りしています。来年は喜寿を迎えさせていただきます。年金生活で今日も楽しい生活ができるのもTECのお陰様とつくづく家内共に感謝しています。



TECとともに40年

～島津 光男さん～

私は今年75歳。定年退職してから12年以上になる。昭和31年、高卒で入社したので、概ね40年間にわたって在籍させてもらった。省みるに「沈香もたかず屁もひらず」の40年だったといえる。入社後、東京のサービス部門に配属され10年間、東京中心にサービス業務に従事した。

60年代、70年代はニクソンショック、石油ショック等を経験しながら、日本は経済的成長を遂げていった。会社もグループとして離合集散を繰り返しながら、成長していった。私も転勤命令により大阪支店、大仁工場、三島工場と職場は変わり、名も東芝事務機(株)、東京電気(株)、テックエンジニアリング(株)、(株)TERなど、社名も数回にわたって変更された。会社発展の象徴だった。

40年間といえば人生の大部分といえる。むしろ人生のすべてと言っても過言ではない。また、会社の変遷と家族の成長は表裏一体であり、決して別々に語れるものではない。入社10年後、大阪支店への転勤、結婚、長男誕生、長女誕生など、人生最大のイベントが大阪勤務の約7年半の間に次々と展開。その鮮やかな思い出は、今も記憶に新しい。これを詳しく述べるとさらに紙面を要することになり、私には鮮明な記憶も、他人にはよくある話にすぎない。次は大仁への転勤で大仁・三島工場駐在としての「サービス部門」の仕事だった、ここでは全国のサービス部門の社員に対する

技術教育・研修を担当しながら、製品の取扱い説明書やサービスマニュアル等を作成していた。

この頃、サービス部門はテックエンジニアリング(株)に段階的に移管・統合され、独立採算の別会社となろうとしていた。本社は東京五反田に移り、私は東京・三島・大仁と全国の支社店も間接的にも守備範囲の一部だったので、各地を行ったり来たりの日々だった。そんな時、返済終了の年齢の制約もあり、三島市に住宅を取得。住みつくことになった。

その後、再び大阪勤務で、今回は単身赴任。後、本社に戻り、三島からの新幹線通勤。その後再度、川口市に単身赴任。これも過ぎしかたによっては楽しい時間になった。

しかし、私生活を振り返って見ると両親に優しく接したか？否、子供達と十分な対話をしながら育てたか？否、妻や家庭を大事にしたか？否、部下を真摯に育てたか？否、自分自身勉強したか？否、会社の業績向上に寄与したか？否・・・男として、親として、夫として、人間として責任がほとんど果たせていないことに愕然とした。

しかし、黙々と私を支えてくれた妻は、今年「古希」を迎える。子、孫を集めて、感謝を込めてささやかな祝宴を催したい。

(第24号に“退職後”編が続きます)

私の近況について

～加納 将吉さん～

退職して早や十五年近くに成りました。退職後は多少仕事に就きましたが、ここ数年は仕事も止め、平凡な生活を送っております。

その生活に多少とも色を添えているのが、趣味であります。まずは「謡曲」の稽古があります。謡曲の稽古は、学生時代に部活動で数年行いましたが、卒業後は時間も機会も無く、中断して居りました。退職後は時間も出来ましたので稽古を始め、十数年経ちます。

私の稽古は能楽師に個人教授を受けるのではなく、カルチャーセンターでの十数人での稽古です。謡曲は能舞台で謡われるもので、「能」のシナリオとも言えます。大きな声を出し健康にも良く、「能」の理解にも役立ちます。

「能」は「幽玄美」が描かれた「謡と舞」を中心に展開する物語で、日本が世界に誇る伝統芸能です。「能」には流派があり、シテ（主役）では五流（観世・宝生・金春・金剛・喜多）があり、

私は宝生に属しております。

最近、能楽を見にゆく人は結構いますが、謡曲を稽古する人は以前に比べて減っており、大変残念な事です。能楽はなかなか解りにくく、取っ付き難いですが、機会があったら、ぜひ能楽堂に足を運んでください。東京でしたら、千駄ヶ谷にある国立能楽堂が手軽で良いと思います。

次に旅行です。海外も行きましたが、国内旅行が多いです。個人旅行ではなく、旅行会社の団体旅行で、夫婦での参加が大半です。

旅行といっても、単なる観光旅行では無く、歴史街道の旅とか、国宝・重要文化財の仏像とかを見て回る旅行が多いです。講師が付いたりするので、費用は割高になりますが、それなりの良さがあり、楽しいもので、バスと列車での旅です。

街道の旅では、東海道・中仙道・東北道などを行きましたが、場所に依ってはまだまだ古いものが残っており、歴史のロマンを感じたりしました。仏像や建物などを見ると、難しい事は解りませんが、その素晴らしさに心を打たれたり、安らぎを覚えたりします。

まだまだ訪ねていない所は多くありますので、



健康と財布の許す限り旅行をしたいと思っております。

趣味とは言えないのですが、大学の公開講座への参加です。首都大学東京（旧東京都立大学）のオープンユニバーシティに、多少のボケ防止にも為るかとも思い、昨年より参加いたしました。

講座は三ヶ月ごとに区切られており、一講座は4~6回が中心で長いのは10回もあります。1回は90分授業です。授業科目は、心・健康・経済・社会・科学・言語・歴史・芸術・文学などがあります。私は興味あるテーマを選んで受講しております。受講生は中高年が大半です。

今年の春は、尾形光琳（江戸時代の画家）の芸術について学びました。その芸風は大胆華麗で、琳派という系譜ができました。その作品で国宝である「燕子花図屏風」を美術館に実際に見に行き、講師より説明を受けましたが、その素晴らしさに圧倒されました。

最近では、「隅田川と小名木川の橋と歴史」という講座を受けました。隅田川はご存知の通り東京の東部を流れる大川で、小名木川は隅田川に注ぐ運河で、江戸時代に塩の産地であった千葉の行徳から塩を運ぶ為などに作られたもので、当時は重要な運河でした。講師から川の歴史と橋の構造などの説明を受け、別の日に船で、下は東京湾に近い築地あたりから上は浅草あたり迄回りました。川から眺める東京の風景はまた格別なもので、感銘をうけました。小名木川も江戸時代の塩の道に再生すべく、護岸工事が行われており、すでに工事が完了して綺麗に再生された場所と、まだこれからの場所との格差を目にして、驚きました。

これからも、この講座から知的な刺激を受けられる様、どんな講座が開かれるか楽しみにしております。

私の趣味とか公開講座について述べましたが、OBの方々にも色々と生活の仕方があります。それぞれの考え方や趣味趣に合わせて過ごせたら良いと思います。それには健康が第一です。皆様のご健康をお祈りいたします。

私が東京電気に入社できたのは、昭和30年4月1日付でした。この頃は現在と似て、かなりの不況でした。何とか飯の種をとあせっていました。卒業の年も明けて何とかしなければとあれこれもがいていたころ、親戚筋から、東京電気で募集しているらしいから受けてみないかということだったので、藁をも掴む思いで早速応募しました。

試験は面接だけで本社の会場、確か五人位一緒に呼び込まれて前を見ると、当時の吉岡社長さん他数人が並んでおられました。今でも鮮明に覚えていることは以下のとうり、私はトップバッターで、先ず吉岡社長が開口一番「君は労働組合運動についてどう思うか」と言われ、普段からあまり考えたことではなかったので一瞬唾を呑み込む感があったが「人間の尊厳という点から申しますれば欠くことが出来ないものと思います、破壊的な活動となってはならないものと思います」と答えたら次の人に移り、彼は「経済的活動は良いが政治的活動は不可」とソツなく答えた。

その他は全く覚えていないが、結果は全員合格

だった。

やっと飯の種にありつき、ほっと一息ついてから約30数年間の勤務中はいろいろあったが、何とか勤め上げて平成3年東京電気(株)を後にした。勤めたお陰の厚生年金で現在の生活が成り立っていると思うと会社には大いに感謝している。誰かの年賀状に「お互いに、よき時代に会社人間でしたね」とあったが言い得て妙と思います。私として最も尊敬していた秋津社長も他界され謹んで御冥福をお祈りします。

退社してからは、何か地域社会に少しでもお役にたてばと、伊東市クスマ区の神社四社の氏子総代会会計係を仰せつかって二十年間、政教分離の世の中で神宮や大社等と異なり、地方の小神社は、維持管理費用や神社庁負担金など支出ばかりで収入が期待できず遣り繰りに大わらわです。神道という宗教的意味合いでなく、地元の氏神様として維持管理していかなければならないと思って続けています。

『音無神社の紹介』



伊東市クスマ区音無神社総代会
会計 濱野 定雄

伊東駅からの市道南口線と旧国道二三五線の合流する音無交差点を下田側へ坂を多少上った右側に旧竹之内村の氏神であった音無神社が鎮座している。

最近、伊東大川に架かる通学橋近く、川沿いの松川遊歩道より直接神社境内に入れるようになり、公衆トイレもあり便利になった。

古記録によると、「音無明神」由緒創立年月不詳、寛永十八年の棟札あり、祭神「豊玉姫命」・相殿「八重姫」を祀る、と見える。

海神の娘・豊玉姫は、神武天皇のおばあさんにあたることであるが、伊東の港に着いた時急に産気づき音無の森の産室で屋根も葺き終わらぬうちに無事出産し、極めて軽いものであったことから安産信仰の起源となったという。拝殿のひさし下に奉納された穴あき柄杓の数は驚きである。

かつてこの柄杓を借り受け、産婦の腹を撫でると、安産をもたらすという。

無事安産であると新たな底抜け柄杓一本を加え神社に奉養した名残りで、出産にあたり、底抜けの柄杓で水を汲むが如き安産であれ、との願望からである。

その昔、屋尚暗い境内のタブの木陰で、八重姫が頼朝と逢瀬を楽しんだロマンス物語はほほえましいが、二人の間に生まれた幼い千鶴丸が、八重姫の父伊東祐親の、主筋平氏へのおもわくから痛ましくも稚児ヶ淵に沈められたという悲劇には心が痛む。

毎年十一月十日夜に行われる天下の奇祭といわれる戻つみ祭り、豊玉姫の古事に因んだ暗闇の中の神事や、尻相撲は土地の名物として観光に役がっている。

尻相撲といえは何年か前、女子高校生チームが、むくつけき男共を向こうにまわし、あれよあれよと勝ち進み、遂に団体・個人共優勝をさらってしまつた事が有った。勝つコソとは問われると「リズムです」と涼しい顔で答えたという。

何事もタイミングが大切ということか。

以上、音無神社は全て、庶民的で人間らしい、とも言つべき特徴を持っていると思う。

この環境から育つた若者達が、明るく健康な社会人となつてこの世を支えてくれたら音無神社の神々も喜んでくれるではなからうか。

濱野

支部ニュース

伊豆支部

紅葉狩りウォーキング

開催日時：平成23年11月17日（木） 天候 晴れ

集合場所：伊豆箱根鉄道 修善寺駅

コース：昭和の森 9:50発 島崎藤村碑 10:30着

浄連の滝 11:00着（滝往復せず） 浄連の滝 11:20発 瑞祥橋 12:10

湯ヶ島 テルメいづみ園 12:40着 食事後入浴 解散

支部ができて結成総会後の初めての行事、参加者が心配されたが、11名の参加となった。

当日は天気が良く、秋晴れの模様、昭和の森会館の庭で記念写真を撮り、挨拶の後、行動開始、早速、つり橋を渡り、木の葉の上を歩いて、国道へ渡って上り階段、紅葉はまだ早い感じがするが秋本番、「島崎藤村」の碑の前で小休憩。積もる話をみんなわいわいとしながら浄連の滝駐車場へ。ここまで約1時間、予定だと滝見の時間があったが、消えてしまい、見学希望者があったがあきらめてもらった。さらに足を進めて、「伊豆の踊り子碑」の前を通り、発電所の堰堤を下り、「水恋鳥広場」を通過、河原の小橋をわたりダム鉄階段上って降り、川沿いに下って風情のあるつり橋に到着。少し歩いて「瑞祥橋」へ。そこから「世古峡」を見ながら「持越川」遡る事20分、目的地の「いづみ園」に到着した。予定では入浴後食事だが、待ちきれず食事を取った。1000円の弁当だったが、おかずが沢山入っていて、とてもおいしかった。アルコールも入り、少しのんびりと入浴も含め歓談した為、予定のバスに乗れず、約30分歩いて天城会館バス停へ。そこで約1時間待って出発地の修善寺駅前にやっと到着した。秋の1日を満喫したのんびりウォーキングで、次回は来春開催しようと誓いながら解散した。（万歩計15,000歩）



イベント報告

《第7回親善オープンゴルフ大会》

開催日：2011年5月31日（火）／場所：足柄森林カントリー倶楽部／参加者：グランドシニア10名、一般18名、計28名

「グランドシニアの部」、「一般の部」に分かれ、ゴルフ好きの皆さん28名の参加により楽しい一日を過ごしました。

プレイ終了後、パーティーで、表彰式、談笑し、午後4時、再会を期して散会となりました。

一般の部	《優勝》柴田 和暁さん（東京）、《準優勝》川島 博さん（秦野）、《3位》米田 和男さん（秦野）
シニアの部	《優勝》金高 敏夫さん（秦野）、《準優勝》佐藤 輝義さん（大仁）、《3位》佐藤 寿一さん（大仁）
団体賞	《優勝》秦野チーム ※大仁チームと同点でジャンケンプレーオフ

《第9回ウイナーズゴルフコンペ》

開催日：2011年11月18日（金）／場所：富士エースゴルフ倶楽部／参加者：26名（幹事2名含む）

薄曇りで時々太陽が出る絶好のゴルフ日和でした。7組、26名の各クラブ代表とシードされた方々が集まった大会でした。

《優勝》山本 智紀さん、《準優勝》原 修さん

《東京地区 囲碁同好会 春季大会》

開催日：2011年4月23日（土）

日本棋院八重洲囲碁センターに於いて開催し、8名の愛好者が参集し熱戦を繰り広げました。

《優勝》小山内 建紀さん（軽電）、《準優勝》荒田 重勝さん（軽電）という結果になりました。

引続き開催した反省会という飲み会では談論風発し、楽しい一日を過ごす事ができ、皆が満足して別れる事ができました。

この秋は伊豆地区と合同で、三島で開催する順番が決まっており、一同楽しみにしております。

《静岡地区 囲碁同好会 春季大会》

開催日：2011年6月6日（月）

東芝テック三島事業所 伊豆体育館日本間に於いて、静岡地区の春季囲碁大会を開催いたしました。9名の参加者でランダムに対局し、3～5番対戦しました。

2年ぶりの開催でしたが、熱戦を繰り広げ、久しぶりの対戦を満喫しました。

平成23年度本大会は静岡地区で開催されますので、楽しい大会にしたいと思います。

《第9回東芝テックOB会囲碁基本大会》

開催日：2011年10月24日（月）

東芝テック三島事業所 伊豆体育館日本間に於いて、囲碁基本大会を開催しました。14名参加で4グループに分れ、午前11時半からリーグ戦を行い、勝者がトーナメントで優勝を争いました。

《優勝》沼田さん、《準優勝》中島さん、《3位》小山内さん、《4位》河田さんという結果になりました。

《首都圏ファミリーウォーキング》

開催日：2010年10月1日（土）参加者：22名

羽田空港から大鳥居駅までウォーキングで楽しい一日を過ごしました。

コースは 国際線ターミナル駅集合：江戸小路、江戸前横丁、江戸舞台～5F：展望デッキ～羽田空港の大鳥居（～白魚稲荷神社～穴守稲荷神社～五十間鼻～玉川弁財天水神社～羽田の水門（赤レンガの堤防）～かもめ稲荷～羽田の渡し跡～羽田神社～萩中公園～京急：大鳥居駅～

約5時間半のウォーキングでした。

※次回のご案内は最終ページです。

《第17回 OBリレー首都圏ファミリーウォーキング》

東芝テックOB会・テック電子OB会・東芝テックソリューションサービスOB会 共催
旧江戸東京散歩・第五弾

《学問の神様・湯島聖堂から上野不忍池をめぐる桜ウォーク》

・・・学問の神様・湯島聖堂・神田明神・湯島天神から上野不忍池、旧岩崎邸庭園をめぐる桜ウォーク・・・



1. 開催日時：平成24年4月2日（月）11：00～16：00
（当日6：55AM、NHK気象情報の降水確率50%以上の場合は平成24年4月3日（火）に順延します）
2. 集合場所：JR御茶ノ水駅・聖橋口（ひじりばし）改札口
3. 集合時間：10：30AM受付開始／11：00AM出発～
4. 参加対象：各共催OB及びその家族、知り合い、友人をお誘い下さい。
5. 参加費：一人300円／家族単位500円
6. 今回の案内人：鎌田芳郎（東芝テックOB会員）

7. 予定コース：

JR御茶ノ水駅（11：00出発）～

湯島聖堂（孔子を祀った徳川幕府直轄の学問所）～昌平坂～神田明神（創建1200年を越える平将門を祀る江戸総鎮守）～妻恋坂・妻恋稲荷（日本武尊、橘姫を哀れみ祭る）～湯島天神（学問の神様・菅原道真を祭った江戸学問の象徴的存在）～不忍池・弁天堂（琵琶湖の竹生島を模して造られた中島）～（12：00～14：00桜を見ながら昼食休憩）不忍池（14：00出発）～横山大観邸～無縁坂（森鷗外の雁）～講安寺（無縁寺・最古の土蔵造りの寺）～旧、岩崎邸庭園（三菱財閥の創始者、岩崎弥太郎の岩崎家本邸・重要文化財……1時間見学）～JR御徒町駅（16：00解散）……

（全コース約7km・11,000歩）



8. 申込先・方法：

下記幹事のいずれかにE-mail又はFax、電話にて、住所・氏名・TEL・最終所属・をご連絡下さい。
申込締切は平成24年3月25日（日）

塚原 仁	TEL/FAX：	042-364-8397	E-mail ICK59860@nifty.com
吉田昭太郎	TEL： FAX：	0463-58-8610 0463-26-3075	E-mail shotaro.yoshida@nifty.com
TE OB会	TEL： FAX：	03-5245-9001 03-5245-3494	E-mail TTSS_OBkai@toshibatec.co.jp
鎌田 芳郎	TEL/FAX：	03-3771-0057	E-mail kamayosi@zj8.so-net.ne.jp

9. その他・持参品：お弁当・健康保険証・雨具・など

（解散後、希望者は御徒町駅近くでささやかな打上げ会を予定しております）

《次回予告》旧江戸東京散歩・第六弾……平成24年10月1日（月）……開催予定

《東京スカイツリー・隅田川堤・歴史の移り変わりウォーク》……乞う期待！